

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	がんばれ天龍村観光協会
事業主体 (連絡先)	天龍村観光協会 (後藤 富平 0260-32-2050)
事業区分	(6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,700,053 円 (うち支援金: 1,645,000 円)

事業内容

天龍村の特産品を列車ツアーで来られたお客さんに提供し、天龍村の味を堪能していただきました。また、地域が有する観光資源を発掘するため、平岡ダム湖を利用した遊覧船事業の視察、JR 平岡駅からのウォーキングマップ、案内看板の作成も行いました。

天龍村の魅力をPRするために、観光ポスター、パンフレットを作成し、豊川市、刈谷市、浜松市、渋谷区での物産展に参加し、広く天龍村をPRすることができました。



【列車ツアーの様子】

自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

当事業を実施したことにより、今まで以上に天龍村観光協会の活動が活性化し、南信州天龍村の情報発信をすることができました。

観光協会が中心になって、天龍村に来たお客さんを積極的にもてなすことができました。

また、交通アクセスの悪い天龍村の持つ観光資源についても、積極的に調査、研究し、天竜川の平岡ダム湖の活用についても意見を交わしました。成果を村当局に報告し、今後の天龍村の観光振興に役立てていただきたいと考えます。

【目標・ねらい】

- 南信州 天龍村のPR
- 天龍村特産品のPR
- 天龍村の魅力を探索
- 観光協会員の意識改革

自己評価 (目標達成率) 【B】

今後の取り組み

特産品提供事業が軌道に乗り始めてきた。この事業に更に力を入れることで、観光振興はもとより地域産業の振興も図りたい。今回案内看板等を整備した遊歩道を活用して、長時間に渡り天龍村に滞在していただけるような取り組みをしたい。また、天竜川を活用した遊覧船事業においても村当局と相談しながら、事業を検討していきたい。

山間地で交通アクセスも悪い天龍村で観光振興を図ることは、容易なことではないと感じますが、今年度の取り組みの成果を今後へ活かすため、引き続き観光協会が先頭に立って、観光振興のモデル地区となれるような取り組みを目指します。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。